

区民と党区議団の提案が実る

07年度
予算案

庶民大増税・国民負担増 から区民生活を守る

○七年度予算が発表されました。この中には、みなさんから党区議団にお寄せいただいた要望を、議会などで提案したものが数多く盛り込まれています。

みなさんの運動と党区議団の提案で、予算計上された主なものをご紹介いたします。また、予算委員会の中で、引き続き要求実現のためがんばります。

南麻布四丁目に二百床の
特養ホームの建設
ちいばすの無料バス
支給範囲拡大

特別養護老人ホームの入所待機者の解消めざし、南麻布四丁目の特養ホーム等の高齢者保健施設（特養ベスト二〇〇床、ショートステイ二〇床）、老人保険施設（五十床）を整備する事業者に建設費を補助します。

現在、シルバーバス所有者、児童扶養手当受給者、障害者などにはコミュニティバスの「無料バス」が支給されています。

○七年度からは妊産婦、難病認定患者、七〇歳以上（一部有料を検討）の希望者に無料乗車券を支給します。



インフルエンザ予防注射
無料に

高齢者のインフルエンザの感染を予防するため、現在二、二〇〇円の負担となっているインフルエンザ予防接種が無料で受けられます。



南麻布4丁目に建設予定の特養ホーム（完成予想図）

無料なんでも相談 毎月、行っています。お問い合わせ、お申し込みは港区議員団まで。

紙おむつ支給を拡大

現在の月七〇ポイント(一ポイント＝一〇〇円)を一〇〇ポイントに増やします。同様に紙おむつを使えない医療機関に入院している場合、七千円の助成を一万円に拡大。

な人が対象でしたが、六五歳以上の一人暮らしまたは世帯全員が六五歳以上の人に拡大されます。

老人クラブへの助成

港区老人クラブ連合会の事務局員の人件費についても補助することになります。

高齢者・障害者(児)の

無料入浴券の拡大

高齢者の健康推進、閉じこもり予防、地域とのふれあいを促進するため、七〇歳以上の高齢者で希望する人に、無料入浴券が支給されています。

○七年度から、自宅にお風呂のある方も希望する人に支給します。また、障害者及び原爆被爆者で自宅にお風呂のある方にも支給します。



シルバー人材センターの自主的努力を尊重しつつ、センターの運営に必要な支援を拡大。○八年度は運用資金の貸付を実施します。



港区シルバー人材センター

支援の強化

高齢者徘徊対策事業の拡大

認知症による徘徊行動のある高齢者が所在不明になったときにその所在を早期に確認し事故を未然に防ぐため、位置検索専用端末機を活用し、家族への居場所報告をする探索サービスを行っています。

○七年度から、警備員が現場を捜索、家族に引き渡すまで行います。



民間のデイサービスの

食事代を軽減

区立の在宅サービスセンターの食事代負担軽減にあわせ、民間デイサービスの食事代の自己負担を五〇〇円にする。



緊急通報システムの

対象を拡大

現在は、六五歳以上の一人暮らしが、世帯全員が六五歳以上で、常時見守りが必要

その他にも、孤独死対策事業、認知症高齢者見守り事業、高齢者虐待防止・要援護者支援事業、特別養護老人ホーム「白金の森」の改修などの予算が組まれています。